

やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞

vol.199
2023.3

〔特集〕

生前のお墓…それは寿のお墓!? . . . 1・2ページ

仏像・あれこれシリーズ

仏像が手にしているアレは何!? . . . 3ページ

あっ！これ見たことある！

藤崎町「こどもの森公園」護岸工事 . . . 4ページ

幸せを運ぶお線香の香り . . . 5ページ

日本最大の墓石専門店グループ「ランドワークグループ」

宮城の「まつしまメモリーランド様」との交流会 . . . 6ページ

「大切な人に贈りたい」語りつがれる絵本

良きご縁をありがとうございます . . . 7ページ



3月は「甘い雨」が降る!?



3月の声を聞けば、雪国の青森と言えどもようやく春を感じる時期なのではないでしょうか。そこで、春にちなんだ言葉を調べてみました。

「甘雨（かんう）」という言葉をご存知ですか？（私は知りませんでした（泣））「草木にやわらかくそそぐ春の雨。植物や農作物の成長を促す優しい雨」という意味だそうです。

厳しい冬を乗り越えたあとの、優しい雨。何となく心に染み入ります。

〔特集〕

生前のお墓… それは寿のお墓!?



弘前店営業部 相内翔太

こんにちは。相内です。

今年の冬は、突然ドカ雪になったり急に暖かくなったりと、なんか変な冬だったように感じます。いずれにしてももう3月。春は目の前です！

さて今回は「終活」という言葉が私たちの生活に浸透してきた中で増えてきている「生前のお墓」についてお伝えしたいと思います。

生前のお墓っていいの？悪いの？

そうですね。ちょっと考えてしまいますよね。お墓のことだからなおさら不安に感じている方も多いと思います。「生きてるうちにお墓を建てると、早くあの世に行ってしまうよ」と、心配が講じて忠告をしてくれる方もいらっしゃるでしょう。その気持ちも痛いほどわかります。

ではここで、この「生前のお墓」を専門用語にしてみましよう。それは「寿陵墓（じゅりょうぼ）」という言葉になります。どうですか皆さん。「寿（ことぶき）」の「陵（おか）」と、なんともめでたい、縁起の良い言葉になりました。この言葉が、もし私たち石屋が考えたとなると、「なーんだ、ただの宣伝じゃないか！」ということになりますが、いえいえそんなことはありません。この言葉は中国では、古くから「寿」を「人の命が長らえることはこの上なくめでたい」という意味で、「陵」は皇帝のお墓のことを意味しているんです。なんか奥深さを感じます。

つまり、寿陵墓＝生前のお墓は長寿を願うおめでたいお墓のことなんですね。

一目でわかる寿陵のお墓

ところで寿陵のお墓ってどのようにしてわかるのでしょうか？皆さんお墓参りなどで墓地去られた際、墓石に刻まれた建立者名を見てみてください。朱色に塗られた名前のお墓を見ることがあると思います。これが「寿陵墓」なんですね。朱色は厄除けの意味もあるそうですよ。

ちなみに歴史を辿ってみると、この寿陵のお墓は、道教の「不老長寿」を信仰した古代中国の秦の始皇帝が起源と言われています。その後日本へ伝わり、聖徳太子や蘇我入鹿が生前にお墓を建てております。皆さんにとって馴染みの深い、昭和天皇も実は生前にお墓を建てられているんですよ。

生前にお墓を建てられたお客様の声 (青森市・田中様)

家族に心配・負担をかけたくない という思いからお墓づくりが 始まりました

「お陰様で、年内にお墓をつくることができました。安堵しております。

正直なところ、若いころはあまりお墓に関心はありませんでした。しかし、それなりの歳を迎え、また知人、友人の多くがみまかるにつけ、死後最大の関心事でありますお墓をどうしたらよいか、関心を持たざるをえないでいました。なにより家族に余計な心配、負担をかけたくないという思いからでした。

お墓について知識皆無で全くの素人でしたが、これからまたお世話になります。」



このように生前のお墓は、その人にとって「心の安らぎ」を与えてくれる、大きな節目のような気もします。自分の好きな石で、気に入ったデザインで……。それぞれの思いがそこにあるのでしょう。

もちろん「自分たちの子供にお墓のことで心配をかけたくない」という方もたくさんいらっしゃいます。この機会に一度、ご家族でお話をされてみてはいかがでしょうか。

仏像・あれこれシリーズ

へえ～ そうなんだ！

こちらのコーナーでは、知っているようで知らない「仏像」のあれこれをお届けしていきたいと思います。・・・きっと誰かに教えたいくなる・・・！？



青森店営業部 宮崎 陽

仏像が手にしているアレは何!?

ひと言で仏像と言っても、柔らかく優しそうな表情、そしてその衣装にも様々な特徴があります。その中でよく見てみると何か手に持っている仏像もあります。これを「持物（じぶつ）」と言います。

今回は、この持物についてご紹介いたします。

<p>◆水瓶（すいびょう）</p> <p>如意瓶（にょいびょう）、軍持（ぐんじ）とも呼ばれるそうです。徳利や一輪挿しの様な形をしています。</p> <p>容器の中には、人々の願いを満たす財宝が蓄えられています。</p>		<p>◆蓮華（れんげ）</p> <p>蓮華は泥の中から生まれても泥の汚れに染まることなく美しい花を咲かせる事から、煩惱に染まる事のない悟りと智慧の象徴と言われております。</p>	
<p>◆薬壺（やっこ）</p> <p>万病を治す薬が入っていて、使っても減る事がないそうです。薬師如来のトレードマークであり如来で唯一、持物を持っています。</p>		<p>◆錫杖（しゃくじょう）</p> <p>旅をする際について歩く為の杖。各地を巡り人々の救済をする事を表しています。</p>	

他にもさまざまな持ち物を持っている仏像はありますが、一番持っている数が多くとても面白い仏像はなんといっても、千の手を持つ「千手観音」です。蓮華や水瓶はもちろんのこと、弓や剣などの武器、どくろ、柳の枝、ブドウ、巻貝、なんと宮殿まで手に持っています。

仏像を見た時、どんなものを持っているか探しどの様な役割の仏様なのか考えてみるのも面白いのではないのでしょうか？

あっ！これ見たことある！

藤崎町「こどもの森公園」護岸工事



青森店業務課 大澤 隆則

こんにちは。大澤です。

2007年11月。もうずいぶん昔のこととなりますが、南津軽郡藤崎町の護岸工事のお話です。どうぞお付き合いください。

南津軽郡藤崎町に「こどもの森公園」が完成して10年以上となります。そこには広い緑の中に沼地がありますが、その護岸工事を担当いたしました。

その年のお盆明けから工事を開始。高い所では2m位もあり、工事担当の話では夏の暑い汗と、ちょっとした冷や汗をかきながらの工事だったそうです。

石を1個ずつ積んでいくわけですが、ただ積むという訳には行きません。巾30cm、高さ25cm、奥行35cmの三角錐の石を横方向に並べていく布積みというやり方で、大変苦勞しました。さらに現場で石を叩いて形を整えながらの作業のため、熟練の職人でもなかなかかかどらない、根気のいる仕事です。

使用した石は秋田県の男鹿石で、濃い目の灰色で照り返しも少なく落ち着いた感じの色合いです。まさに自然の中に溶け込むかのような雰囲気を持っております。

なかなか行く機会は少なくなりましたが、春になったらお弁当でも持って行ってみたいと思います。



道路沿いにあるこの看板が目印です。



1個1個丁寧に積み重ねました。汗と涙が？染み込んでます。



手間ひまと根気の結晶です。

幸せを運ぶ お線香の香り



ショールーム課 佐藤 江里子

こんにちは。お客様との日々の出会いから、たくさんのことを学ばせていただいております。ありがとうございます。

お客様からこんなご質問をお受けすることがあります。

仏壇にあげるお線香はどんな匂いでもいいのかしら？

お線香は仏様のご飯であり、私たちからの感謝の気持ち・・・お部屋に広がる香りは仏様のわけ隔てないご慈悲とも言われているそうです。

ご先祖様のためにお供えしていたお線香ですが、実は私たちにも恩恵があったのですね。ということは、私たちが「いいな～」と思える香りのお線香を使うことで、ご先祖様のご供養にもつながるような気がします。皆様のお気に入りの香りを探してみてもいいかもしれませんね。



お線香も様々。色々な香りを楽しむことができそうです。

お線香の煙がちょっと苦手・・・

気管が弱い方や、病気の時など、煙が辛いと感じる方も多いようです。それでも正式にご供養しなければというお気持ちから、苦手でも続けている方がいらっしゃるようです。

最近では煙が少ないお線香も珍しくありませんし、匂いがほとんどないものもあります。

体調に合わせて、または安全のために火を使わない電気線香もございます。是非ご自身に合うものを見つけてください。



電気の光がほのかに漂います。火を使わないので安心ですね。

毎日のお祈りがより心地よい時間になりますように。

日本最大の墓石専門店グループ
「ランドワークグループ」

宮城の「まつしまメモリー ランド様」との交流会



青森店営業部 山内 一磨

昨年秋、やまと石材も一員となっております「ランドワークグループ」のまつしまメモリーランド様（本社宮城県）が、弊社視察のためにお見えになりました。

まずは、展示場をご覧になられ「とても大きな展示場でわかりやすいですね！」と好評をいただきとてもうれしく思いました。（ここだけのお話しですが・・・大きいのでお掃除とかポップの管理など一苦労なんです・・・）

次に室内の研修室にて意見交換を行いました。宮城県と青森県・・・お墓の形から作り方までやはり地域によって違いはあるんだと再認識いたしました。

また視察に訪れた方から、お墓のこと以外で特に関心を持たれていた質問として「SNSの取り組み」がありました。やまと石材で行っているLINEや今後の取り組みについていろいろとご質問をいただき、自社に取り入れていこうという姿勢を強く感じました。

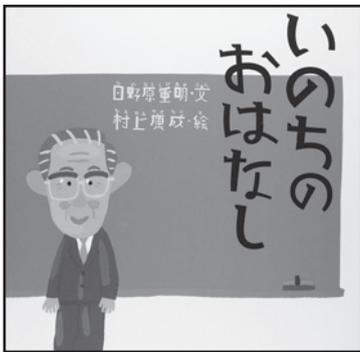
私たち石材店も時代の流れを捉えて、お客様のニーズにお応えしたいという考え方は、地域は違ってもお互いに一緒に嬉しかったです。

今回のような交流会はとても有意義なもので、グループ会社ならではのスケールメリットです。私たちやまと石材からも色々ご質問をさせていただき、様々な知識を吸収することができパワーアップすることが出来たと思います。

今後もこのような交流会を増やして、切磋琢磨していきたいですね！



お墓のつくりや特徴など、真剣に耳を傾けておりました。



「大切な人に贈りたい」
いつまでも語りつがれる絵本

「いのちのおはなし」

日野原重明/著 村上康成/イラスト

2017年、105歳で亡くなった医学博士の日野原重明先生が、95歳のときに小学校4年生の子供たちに行った「いのち」の授業を絵本にしたものです。

95歳の先生が、10歳の子供たちに問いかけます。

「生きるとは、どういうことだと思いますか？いのちとはどこにあると思いますか？」

そして子供たちは渡された聴診器を使って、お互いの心臓の音を聴きました。子供たちは見えないいのちが、形あるものとして迫ってくる瞬間を感じました。

日野原先生は、「これから生きていく時間、それがきみたちのいのちなんです」と言いました。子供たちはちょっとびっくりしましたがそれから、いのちを、時間をどう使うのか考えました。そして自分以外のことのために、自分の時間を使おうとする「こころ」が大切だという事も・・・

いのちの真髄に迫るお話しが、優しい言葉でわかりやすく書かれた絵本です。ぜひお子様と一緒に読んでみてはいかがでしょうか。

シヨールーム課・佐藤江里子

絵本の読み聞かせボランティアを続けて10数年。心に響く素敵な絵本を少しでも紹介できれば幸いです。



良きご縁をありがとうございます

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-----------|-------|-----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-------|-----------|-------|---------|-------|--------|-------|-------|
| 青森市駒込 | 青森市筒井 | 青森市青柳 | 青森市油川 | 青森市新城 | 青森市けやき | 青森市古川 | 弘前市緑ヶ丘 | 十和田市西十三番町 | 青森市浜田 | 福島県郡山市大槻町 | 東津軽郡平内町小湊 | 青森市浪岡浪岡 | 青森市金沢 | 青森市自由ヶ丘 | つがる市牛潟町 | 青森市新城 | 東津軽郡蓬田村蓬田 | 弘前市青山 | 北津軽郡板柳町 | 黒石市高館 | 青森市久須志 | 黒石市緑町 | 弘前市外崎 |
| 相馬様 | 小沢様 | 丹羽様 | 福井様 | 小笠原様 | 工藤様 | 飯田様 | 櫻庭様 | 伊藤様 | 佐々木様 | 佐藤様 | 貝塚様 | 森様 | 小山内様 | 松橋様 | 毛内様 | 畑中様 | 津嶋様 | 成田様 | 鳴海様 | 須藤様 | 工藤様 | 山口様 | 小山内様 |

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。

Landwork 日本最大36店舗の
ランドワークグループ 墓石専門店グループ

墓石と仏壇
やまと石材

【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388

【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com

友達募集、今すぐ登録！



青森 やまと石材 検索

編集後記

やまと通信も199号まで来ました。次号は記念すべき200号到達です！とは言っても「いつも通り」に淡々と・・・それが長続きする一番の秘訣です。日常生活でも、いい習慣を継続することが何よりですね。

(佐々木)